

施工仕様書

《内装用》ウエルネス型光触媒水性塗料 オプティマスインテリアメディカルペイント

マイクロ
キャプセル
入り

光触媒入

抗菌
抗ウイルス



OPTIMUS[®]

OPTIMUS INTERIOR PAINT

〒541-0053 大阪府大阪市中央区本町1-6-17 9F

Tel. 06-6203-1121 Fax. 06-6203-1141

Mail. info@optimus.jp

www.optimus.jp

《内装用》 オプティマスインテリアメディカルペイント

基材	工程	製品	ローラー		吹付		塗装間隔	
			塗布量(kg/㎡)	希釈(%)	塗布量(kg/㎡)	希釈(%)	冬場	夏場
石膏ボード	プライマー	インテリアプライマー又はC3プライマー	0.15~0.2	0~10	0.2~0.3	0~10	2時間	1時間
	上塗り 1回目	オプティマスインテリアメディカルペイント	0.15	0~5	0.15~0.2	10~20	3時間	2時間
	上塗り 2回目	オプティマスインテリアメディカルペイント	0.15	0~5	0.15~0.2	10~20	3時間	2時間
珪カル板	プライマー	インテリアプライマー又はC3プライマー	0.15~0.2	0~10	0.15~0.2	10~20	2時間	1時間
	上塗り 1回目	オプティマスインテリアメディカルペイント	0.15	0~5	0.15~0.2	10~20	3時間	2時間
	上塗り 2回目	オプティマスインテリアメディカルペイント	0.15	0~5	0.15~0.2	10~20	3時間	2時間
ベニヤ	プライマー	インテリアプライマー又はC3プライマー	0.15~0.2	0~10	0.15~0.2	10~20	2時間	1時間
	上塗り 1回目	オプティマスインテリアメディカルペイント	0.15	0~5	0.15~0.2	10~20	3時間	2時間
	上塗り 2回目	オプティマスインテリアメディカルペイント	0.15	0~5	0.15~0.2	10~20	3時間	2時間
塩ビクロス	プライマー	PPプライマー	0.15~0.2	0~10	0.15~0.2	0~10	2時間	1時間
	上塗り 1回目	オプティマスインテリアメディカルペイント	0.15	0~5	0.15~0.2	10~20	3時間	2時間
	上塗り 2回目	オプティマスインテリアメディカルペイント	0.15	0~5	0.15~0.2	10~20	3時間	2時間
モルタル	プライマー	インテリアプライマー又はC3プライマー	0.15~0.2	0~10	0.15~0.2	0~10	2時間	1時間
	上塗り 1回目	オプティマスインテリアメディカルペイント	0.15	0~5	0.15~0.2	10~20	3時間	2時間
	上塗り 2回目	オプティマスインテリアメディカルペイント	0.15	0~5	0.15~0.2	10~20	3時間	2時間

※注意事項 プライマーが吸い込みやすい下地(珪カル板、ベニヤ等)につきましてはプライマーを数回塗布して下さい。

施工上の注意

■塗装する面のゴミ、カビ、コケ、油分などの汚れや剥離しかけの塗膜は除去し、清浄な面にしてください。■コンクリート・モルタルの養生は夏期3週間以上、冬期4週間とし、含水率10%以下、PH9.5以下にしてから塗装してください。■外気温や人体温度が5℃以下の場合や湿度が85%以上の時は施工を避けてください。塗膜性能が発揮されない場合や、接着不良の原因となります。■塗膜が完全に乾燥する前に結露が発生しますと、白化やシミの原因となります。風通しをよくして施工をしてください。■各工程の標準塗布量や塗装間隔を守られていない場合、塗膜の性能を発揮できないことがあります。又、当社以外の材料を組み合わせられますと、接着不良等の不具合現象並びに、塗膜性能が発揮できないことがあります。■塗装時及び、塗装後は換気をよくしてください。密閉した場所で施工しますと乾燥が遅くなります。又、結露が発生し接着不良や白化、シミの原因となります。■改修塗装の場合は素地塗膜との接着を予め確認してください。(オプティマスインテリアプライマーを素地に塗布し確認してください。)■ビニールクロスに塗装する前にはプライマーで試し塗りをを行い、ベタつきや接着力の確認を行ってください。■プライマー塗装後の重ね塗り時間(塗装間隔)よりも短いと、上塗りの縮みやクラック等の不具合現象が起きますので、塗り重ね時間(塗装間隔)は厳守してください。■プライマー類や上塗り塗料には防錆性能がありませんので、素地が金属の場合は錆びている箇所をケレンし、オプティマスマタルプライマーを塗布後オプティマス塗料を塗装してください。■付着性の悪い素地については塗装は避けてください。(PP、フッ素コーティング、シリコンコーティング等)■塗膜乾燥後に汚れが着いた場合は、シンナー等で拭かず中性洗剤で洗ってください。■ローラーや刷毛等の塗装用具は水性用を用意してください。使用後用具や手に付いた塗料はできるだけ早く水洗いしてください。

☆攪拌方法: 電動攪拌機を使用して均一になるまで攪拌してください。(攪拌時間2~3分) 電動攪拌機が無い場合は棒などで容器の底までよくかき混ぜ、均一になるまで攪拌してください。(マイクロキャプセルが入っているため)

☆保存方法: 直射日光は避け冷暗所にて保管してください。又、水系塗料ですので0℃以下になるようなところでの保管は避けてください。(保管温度: 0℃以上40℃以下)



1	下地処理	改修等の塗り替え時には、旧塗膜の剥離部分、フクレ部分を完全に撤去する。又、油分が付着している場合は溶剤拭きを行って下さい。クラック部分についてはクラック処理を行って下さい。
2	清 掃	下地に埃やゴミが付着していると、接着力が確保されず塗膜の剥離やフクレなどの不具合が生じますので、清掃は必ず行って下さい。 又、壁紙等へ施工する場合は水拭きなどで下地を清潔にした後施工を行って下さい。
3	プライマー塗布	プライマーに関しましては、下地の種類毎にプライマーを用意しております。(別紙参照)プライマーの吸い込みの激しい場合は再度プライマーを塗布して下さい。
4	混合攪拌	塗装前には必ず電動攪拌機にて材料が均一になるまで攪拌してください。 骨材が浮いたりすることがあります。
5	塗装方法	塗装方法に関しましては一定方向に塗布するだけでなく、縦、横を必ず通してください(特殊骨材が片寄り仕上がり不良になります。)又、塗布量に関しましては標準塗布量を厳守願います。